

2017年度「豊田理研スカラー」氏名と研究テーマ

No.	大学	氏名	研究テーマ
1	東北大学	丸山 伸伍	機械学習を組み合わせた有機半導体薄膜におけるドーピング効果のハイスループット探索 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_1.pdf
2		佐藤 雄介	siRNA創薬の細胞内デリバリーイメージングを指向したRNA結合性蛍光プローブの開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_2.pdf
3		檜本 悟史	木質バイオマス有効利用へ向けた植物細胞壁改変技術の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_3.pdf
4	東京大学	NGUYEN THANH VINH	MEMS2軸力センサを用いた微小液滴の滑りにおける接触面の力分布の計測 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_4.pdf
5	豊橋技術科学大学	関口 寛人	三原色集積窒化物LED実現に向けた選択成長技術および発光色制御技術の高度化 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_5.pdf
6		東城 友都	環状共役 π 分子の配置制御および、環状共役 π 分子同士の熱融合による単層カーボンナノチューブの合成 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_6.pdf
7		丸山 智史	バイオマーカー検出、及びその検出向上のための参照LSI混載型光学検出バイオセンサに関する研究 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_7.pdf
8	名古屋大学	椿野 大輔	多層運動評価の最適化に基づく複数の移動体の自律的・協調的な行動則設計 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_8.pdf
9		井村 敬一郎	価数揺動を利用した新規熱電材料物質の探索 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_9.pdf
10		北浦 良	グラフェン液体セルの自在デザインと応用
11	名古屋工業大学	住井 裕司	水溶性空間を指向した分子設計に基づく不凍活性物質の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_11.pdf
12		知場 三周	2軸濃度勾配を利用したラスマルテンサイトの組織サイズ決定因子の解明 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_12.pdf
13	豊田工業大学	半田 太郎	分子イメージング技術を用いた衝撃波発生条件における超音速マイクロ内部流れの現象解明 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_13.pdf
14	三重大学	湊元 幹太	ロバストな細胞膜マーカー解析探針としての人工細胞脂質膜ナノビーズ 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_14.pdf
15		鳥飼 正志	自己組織化の逆問題の解法 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_15.pdf
16		藤井 義久	難脱硫成分を分離可能なオイル耐性ろ過フィルターの探索 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_16.pdf
17	京都大学	権 正行	発光団集積型かご型シルセスキオキサン合成と応用 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_17.pdf
18		和氣 剛	酸素分圧制御によるCe置換M型フェライト磁石の可能性の探索 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_18.pdf
19		金 賢得	水素の室温大量貯蔵・輸送を実現する多孔性構造の分子ダイナミクス描像に基づく解明と先導的デザイン 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_19.pdf
20		道岡 千城	W型フェライトの単結晶を用いた磁気異方性の学理構築
21	大阪大学基礎工	岡本 行広	リポドナノテクノロジーによる膜タンパク質分離デバイスの創成 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_21.pdf
22		山田 道洋	シリコン量子井戸構造への高効率スピン注入と室温スピントランジスタへの応用 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_22.pdf
23	大阪大学工学部	岡田 健司	有機リン酸を原料に用いたリン酸鉄リチウムの合成:表面修飾およびナノ粒子化に向けて 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_23.pdf
24	九州大学	小出 太郎	電子受容性ポルフィリノイドの新規合成・修飾法の開発と材料応用 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_24.pdf
25		三浦 佳子	精密高分子を用いた人工抗体の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_25.pdf
26		松島 綾美	新規な薬剤結合増強法を目指したエストロゲン関連受容体とハロゲン化フェノールの結合解析 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar/sc_26.pdf